

《ミッション5》 地域とのつながりの中で、社会全体でこどもを見守り支え、育てる

KPI:地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うこどもの割合

<R5実績値> 小学生:75.3% 中学生:62.3%

	R6	R7	R8	R9	R10
目標	小学生:80.0% 中学生:70.0%	小学生:80.0% 中学生:70.0%	小学生:80.0% 中学生:70.0%	小学生:80.0% 中学生:70.0%	小学生:80.0% 中学生:70.0%
実績	小学生:83.6% 中学生:73.7%	—	—	—	—
評価 〔達成率〕	順調 〔小学生:104.5% 中学生:105.2%〕	—	—	—	—

(1)地域・企業、NPO等と連携した教育を進める

①コミュニケーション力や生きる力を身につける教育の推進

ミッション2(2)①に記載 P.17-18

②アントレプレナーシップ教育による人材育成

ミッション2(2)②に記載 P.18

③不登校・いじめ対策の強化

ミッション3(2)①に記載 P.27

④文理の枠を超えた学び・最先端の理工系教育の推進

ミッション3(4)②に記載 P.31

⑤本市の特色を生かした教育活動の推進

ミッション3(4)③に記載 P.31

⑥部活動の地域展開の推進

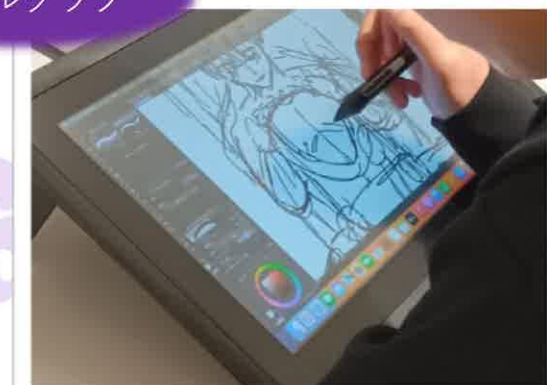
a モデルクラブによる実証実践

・部活動地域展開の検討会議である「北九州市部活の未来を考える会」を4回開催し、有識者より意見を聴取するとともに、スポーツ庁・文化庁の委託を受け、モデルクラブによる実証実践を実施した。

<モデルクラブによる実証実践> 陸上競技:36名 バスケットボール:36名
バレーボール:21名 マンガ:27名 吹奏楽:5名

・市内の大学と連携し、スポーツ学部 に在学している教員志望の大学生9名を、中学校7校に部活動指導者として派遣した。

モデルクラブ



(2)学校と地域の連携による学校運営を進める

①地域との連携

a コミュニティ・スクールの実践

・「地域学校協働本部」を各中学校区に設置し、学校と地域のボランティアとの連絡調整を行う「地域学校協働活動推進員」や、教育活動の支援を行う「スクールヘルパー」を中心に、学校支援活動や学びによるまちづくり、地域活動などの様々な活動を推進した。

＜コミュニティ・スクール＞ 21校区32校

②家庭との連携

a 家庭との連携

・家庭や地域の教育力の向上に向け、家庭教育に関する啓発や学習機会の提供を推進する家庭教育講演会を開催するなど、地域や家庭と学校が一体となって、教育力の向上に取り組む体制づくりを行った。

・学校、家庭の双方が、PTA活動の主旨や活動に必要な知識等を理解し、健全なPTA活動を行うことができるよう、PTA指導者研修会を行った。

(3)教育に関する情報を社会全体で共有できるよう積極的に発信する

①広報・広聴活動

a 広報活動の強化

・教育施策の主な動きと実績を取りまとめた資料「教育要覧」や広報誌「未来をひらく」の発行を通して、教育委員会の取組みや学校の活動状況を発信した。

・優秀な人材を一人でも多く確保すべく、「教員採用選考方法の見直し」と「広報活動の強化(大学等訪問、北九州市教員採用HPの充実、チラシ配布、ポスター掲示、各情報誌への記事掲載等)」を実施し、教員のやりがいや北九州市で働く魅力を発信した。

＜広報活動実施大学数
および説明会参加者数＞

	R6(R5)
説明会	22校(21校)
資料送付 ※説明会実施大学を含む	81校(79校)
説明会参加者数(延べ)	586人(446人)

(1)地域・企業、NPO等と連携した教育を進める

①コミュニケーション力や生きる力を身につける教育の推進

ミッション2(2)①に記載 P.20－21

②アントレプレナーシップ教育による人材育成

ミッション2(2)②に記載 P.21

③不登校・いじめ対策の強化

ミッション3(2)①に記載 P.34

④文理の枠を超えた学び・最先端の理工系教育の推進

ミッション3(4)②に記載 P.37

⑤本市の特色を生かした教育活動の推進

ミッション3(4)③に記載 P.37

⑥部活動の地域展開の推進

a 部活動地域展開推進計画の策定

- ・国の委託を受けて部活動地域展開のモデル事業を実施し、生徒のニーズや外部団体による指導の在り方を検証し、その成果をもとに、「北九州市地域クラブ」の在り方の検討につなげた。
- ・令和7年度は「部活動地域展開推進計画」の策定と「ガイドライン」の見直しを行い、「北九州市地域クラブ」の立ち上げ支援等を通じて活動機会の確保と地域展開の着実な推進を図る。

＜地域説明会実施回数＞ 5回程度

＜認定地域クラブ数＞ 50クラブ程度

＜モデルクラブ数＞ 6クラブ

＜派遣大学生数＞ 10名程度

(2)学校と地域の連携による学校運営を進める

①地域との連携

a コミュニティ・スクールの実践

・地域学校協働活動推進員研修会やコミュニティ・スクール実践発表会で学校運営協議会の周知を図った結果、令和7年度は55校区81校に拡大して、コミュニティ・スクールを実践する予定である。引き続き、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動事業を一体的に実施し、各学校の実情に応じて学校教育を支援する取組みを進めていくことで、「地域とともにある学校づくり」を推進する。

②家庭との連携

a 家庭との連携

・引き続き、家庭や地域の教育力の向上に向け、家庭教育に関する啓発や学習機会の提供を推進、及び地域や家庭と学校が一体となって、教育力の向上に取り組む体制づくりを行う。

Mission5

(3)教育に関する情報を社会全体で共有できるよう積極的に発信する

①広報・広聴活動

a 広報活動の強化

- ・教育施策の主な動きと実績を取りまとめた資料「教育要覧」や広報誌「未来をひらく」の発行を継続するとともに、教育委員会公式Facebook等による積極的な情報発信を行うことで、北九州市の教育行政への理解と関心を深めてもらい、保護者、児童生徒、地域にとってより親しみやすい教育委員会を目指す。
- ・教員採用候補者説明会の参加者へのアンケートの結果、採用HPの充実、大学への広報活動等が効果的に作用していることが分かったため、今後も、幅広い年齢層・多様な業種で働く方に向け、北九州市教員採用HPを活用し、「教員」という仕事や北九州市で働くことの魅力を発信するなど、さらなる取組みを進め、優れた資質をもつ教員の確保を目指す。

教育委員会
公式Facebook



教育委員会
公式Instagram



参考指標

	R5(基準値)	R6(実績)	R10(目標)
「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答したこどもの割合	小学生:49.8% 中学生:39.0%	※2	小学生:60% 中学生:50%
「教育的効果が得られた」と回答した地域学校協働活動実施校の割合	77% (R4年度)	95%	前年度以上

※2:「全国学力・学習状況調査」の調査項目から除外されたため、令和6年度はデータなし。